

# 学校と地域の連携・協働を見つめて①

真庭市立北房小学校  
(開校準備～1学期の取組)

## 『見守りボランティア組織』の立ち上げステップに注目

平成30年度、【新設】真庭市立北房小学校(中津井小、砦部小、上水田小、水田小 4校統合)が開校しました。スタートにあたり、北房小では、まず、広くなった学区で、全児童の安全・安心な通学確保を最優先課題と考え、地域住民に『北房小学校見守りボランティア』として協力を求め、旧4小学校区全てをカバーしたボランティア組織が立ち上がりました。北房小における地域との連携を大切にしたい教育活動推進の取材を通し、学校と地域の連携・協働の推進方法を改めて考えます。



### 【学校のねがい】

新しい方法での全児童の安全・安心な通学



○当初は、真庭市北房振興局、真庭市教委と連携を図り、「新たな通学範囲や通学路」「スクールバスの時刻」等を具体的・詳細に地域に伝え、地域住民の方々に説明・依頼。

## 学校と地域で実現

### 【地域のねがい】

児童の安全・安心を確保する地域づくり



○「可能な範囲での協力」を前提に説明会に参加。旧小学校区ごとに「見守りの方法(通学時の横断の場所や集合時刻、連絡網)等」を住民主導で協議。(65名で活動開始)

連携・協働  
のポイント

○学校のニーズ(地域・保護者の方々に一緒に考えてもらいたいこと)を具体的(活動にかかわる者が何をどのようにすればよいのか)に伝える。

○最初からすべてを決めてしまうのではなく、やりながら活動や方法を振り返りつつ進めていくスタンスが必要。